

燕北まちづくり便り

燕北地区まちづくり協議会
(燕市小中川公民館内)
☎0256-62-3902
発行責任者:小柳保男

～地域のコミュニティづくりをすすめています～

令和3年度総会開催 5月22日(土)



留任の小柳保男会長



昨年度は新型コロナウイルス感染防止のため、開催出来ませんでした。今年は感染対策を万全に行い午前10時に開催いたしました。3密を避け、短時間で終了するために、例年行っている来賓の祝辞は割愛いたしました。また、参加者には体温の測定と手指消毒をお願いしました。

「令和2年度の活動報告と収支決算」「令和3年度の活動計画と収支決算」の審議が行われ、それぞれ承認いただきました。また、役員選出が審議され、会長には留任の小柳保男氏、監事には同じく留任の吉荒三郎氏と伊藤陸氏が選任されました。任期は令和3年度から令和4年度までの2年間となります。会長からは副会長、事務局長の委嘱がありました。

全議案を承認いただき、午前11時に閉会いたしました。

(事務局長 小澤石夫)

好評!

「布草履づくり」開催 6月27日(日)



毎年好評の「布草履づくり」。常連の参加者に混じり、今回が初めての参加者もおられました。文化部会が用意した材料で講師の指導により草履づくりを楽しく行いました。昔は日常的に行われていた草履づくり。今は作る機会もなく、その技術も忘れられていくのが現状です。参加者の皆さんからはこの技術を憶えていただき、若い人たちに継承していただければと思います。

参加者からの要望もあり、11月28日に第2回目の「草履づくり」を開催しました。
(文化部会 渡辺繁)

春の花植え 5月30日（日）



松長小学校において春の花植えを実施しました。今年も新型コロナウイルス感染防止のため役員のみで行いましたが、松長小学校の校長先生から協力いただきました。保育園、公民館、小中学校などから昨年の秋植えたプランターを回収し、新しい花を植えて、また配置しました。これから半年間園児、児童、生徒の皆さんから楽しんでもらえると思っております。例年通り北中の交差点と中等教育学校付近の交差点の花壇に花を植えました。通行人の皆さんからも楽しんでもらえることを期待しております。
(環境部会 竹田敏行)



地域の絆～Tシャツアート～ 8月22日（日）～29日（日）

8回目を迎えた「Tシャツアート」今年も旧電鉄跡で開催しました。例年どおり地域の「絆」をテーマに小中川・松長小学校の5、6年の生徒から自分の思いをTシャツに描いてもらいました。今年はまだ協の役員も自分の思いをTシャツに込めました。

朝夕散歩される方が多い旧電鉄の遊歩道。立ち止まって興味深く見ている姿が多くありました。来年はまた新しい5、6年生に引き継がれると思います。

(福祉部会長 小澤悦郎)



←準会の前
小澤悦郎福祉部会長
より挨拶がありました。



秋の花植え 10月24日（日）



今年も新型コロナウイルス感染防止のため、まち協役員のみで秋の花植えを小中川公民館で行いました。春と同じように保育園等に配置しているプランターに花を植え替えしました。春とは違った花を楽しんでいただけるものと思います。同じく北中付近の交差点と中等教育学校付近の花壇にも花を植えました。

花は人の心を和やかにしてくれます。花を見て穏やかな1日を過ごしていただければ幸いです。
(環境部会 竹田敏行)

市指定文化財「灰方の大櫨」 保存活動

1984年3月30日に市の指定文化財となった「灰方の大櫨」知る人も少なく荒れ放題でありました。10年ほど前から、大切な文化財を守ろうと地元有志とまち協の文化部会が合同で保存活動を行っております。

6月から10月は月1回草取りと下枝の刈り取りを行い、10月～11月は毎週土曜日に落ち葉清掃、枯れ枝の始末などを行っております。きれいにする事により、近隣の人々の憩いの場となっております。是非一度見に来てください。

(文化部 渡辺繁)



クリスマス・リース作り 12月22日（水）



午後2時から松長公民館で「松長なかまの会」の子供たち18名と先生3名、そしてまち協の環境部会から2名が参加して「クリスマス・リース」作りの講習会を行いました。

新型コロナウイルス感染防止から、子供たちを2部屋に分けて始めました。リースの土台は「まち協の環境部会」が事前に用意して、子供達には「かざり」をボンドで土台につけてもらう作業をやらせました。

一人ひとりの個性が出る色使いを見て、子供の感性のすばらしさを実感しました。あっという間の2時間でした。帰りには「世界で一つのクリスマス・リース」を自慢げにお父さん、お母さんに見せていました。
(環境部会 竹田敏行)

ふれあいサロン活動の紹介！



スタッフの皆さん

ふれあいサロン（地域のお茶の間）は、燕市内で63団体、燕地区で16団体、燕北地区で7団体（※印参照）が活動しています。今回は、地域の茶の間「たっしゅらかね」を紹介します。

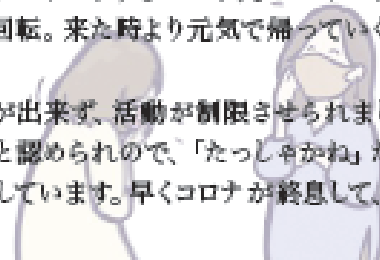
※さくら会、たっしゅらかね、クラブ花園、おたがいさまサロン、三王湖お茶の間、栄町サロン、にこにこサロン

平成19年7月1日に、地域の茶の間「たっしゅらかね」を設立。小中川・大船渡・勘新・小古津新の自治会の支援をいただき活動しています。初回は同年7月25日に小古津新集会所において、参加者13名、スタッフ3名でスタートしました。参加者の声に応え、春・秋は「てまりの湯」へ行き、集会所では、ボランティアを迎えて、ハーモニカ・尺八演奏・手足のマッサージ、手品、語り部、絵本の読みきかせ、保健師による血圧測定・健康相談など多くの皆さんの協力に支えられて活動してきました。

「たっしゅらかね」のモットーは「お口の体操」、おしゃべりすることです。おしゃべりすることで、自分の気持ちを伝えることです。言葉が飛び交い、頭はフル回転。来た時より元気で帰っていく、おばあちゃん達を見ると嬉しくなります。

しかし、令和3年3月より、コロナ禍で集まることが出来ず、活動が制限されました。社会福祉協議会のサロン会議で、「おたより」を配布することも活動と認められ、たっしゅらかね」だよりを配布しています。玄関先で近況を聞きながら、5分程度おしゃべりをしています。早くコロナが終息して、前のように集まれることを願っています。

（代表 澤田法子）



花壇に看板を設置



燕北地区まちづくり協議会

あなたがお立ちこんだりする時
誰もおかまわさずマクわなない
私を見つめてくださいー
私はこの
「にこにこ」を大切にしています

毎年春と秋に「北中学校付近の交差点」と「燕中等教育学校付近」に花を植えています。季節折々の花を周辺の住民の皆さんに楽しんでいただいております。

しかしながらこの花壇はだれが、何の目的で設置しているかが分からない方が多くおられます。この花壇は「まちづくり協議会」が皆さんの心のオアシスとして設置していることを分かってもらうために、この程看板を設置しました。

落ち込んでいるとき、苦しい時など花を見て元気になって下さい。（環境部会 竹田敏行）

【編集後記】

◇コロナ禍で、各種イベントや会合、ボランティア活動、飲み会も制限され、自粛生活で人との交流も希薄になっています。また、コロナ禍で「ひきこもり」は、若年層だけでなく中高老年層も増加し、併せて貧困の増加も問題化しています。

このような状況下で、まちづくり協議会も事業内容の見直しが課題であります。活動の拡充のためには、スタッフの充実も欠かせませんし、自治会や各団体との連携も重要です。

◇今回「ふれあいサロン」活動を紹介しましたが、「居場所づくり」「顔の見える関係づくり」を、まちづくり協議会としても支援していきたいと考えております。

◇まちづくり協議会の運営やイベントなどのご意見をお気軽にお寄せ下さい。

（事務局 小中川公民館内 燕市又新1115 ☎62-3902）

（総務部会 本多弥）